

NEWS RELEASE

2026年9月16日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

「GREEN×EXPO 2027 開催半年前記者発表会」を開催

QuizKnock ふくらPさん・鶴崎修功さん、榊原郁恵さん、三上真史さん、
囲碁将棋 文田大介さん・根建太一さん、NMB48 塩月希依音さん・平山真衣さんら
5組のスペシャルサポーターが集結し見どころを紹介

気象予報士芸人みながわさんが

GREEN×EXPOの見どころ予報「192日間、いつでも満開！」

高市内閣総理大臣、金子国土交通大臣、鈴木農林水産大臣、井野経済産業副大臣
平原横浜市副市長、黒岩神奈川県知事らご挨拶

GREEN×EXPO協会（正式名称:公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会、会長:筒井義信、所在地:
横浜市中区）は、2026年9月15日(火)にGREEN×EXPO 2027 開催半年前記者発表会を開催しました。

いよいよ半年後となった開催に向けて、高市早苗内閣総理大臣からビデオメッセージをいただくとともに、金子恭之国土交通大臣、鈴木憲和農林水産大臣、井野俊郎経済産業副大臣、平原敏英横浜市副市長、黒岩祐治神奈川県知事がGREEN×EXPO 2027への期待とその成功へ向けた決意を述べました。



（前列左から）「QuizKnock」ふくらPさん・鶴崎修功さん、榊原郁恵さん、三上真史さん、「囲碁将棋」文田大介さん・根建太一さん、「NMB48」の塩月希依音さん・平山真衣さん、みながわさん、

（後列左から）トゥンクトゥンク、花ずきんちゃん、モリゾー・キッコロ、ミャクミャク

また、GREEN×EXPO 2027を共に盛り上げるスペシャルサポーター「QuizKnock」のふくらPさんと鶴崎修功さん、タレントの榊原郁恵さん、園芸デザイナーの三上真史さん、「囲碁将棋」の文田大介さんと根建太一さん、「NMB48」の塩月希依音さんと平山真衣さんが登場し、「192日、いつでも満開会議」と題した特別企画に参加しました。企画では、「どんな花が満開の時期に見に行きたいか」をスペシャルサポーターひとりひとりがプレゼンテーションし、気象予報士の資格を持つお笑い芸人・みながわさんが加わってプレゼン内容を深掘りするクロストークが行われました。お話が進むとともに、いつ訪れても花やみどりを楽しめるGREEN×EXPO 2027の魅力が広がり、会場は大いに盛り上がりました。

また本発表会には、大阪・関西万博のミyakumiyakをはじめ、モリゾー・キッコロ、花ずきんちゃんと、日本で開催された国際博覧会の公式キャラクターたちが駆けつけ、フォトセッションに参加するなど会場を盛り上げました。

■スペシャルサポーターがGREEN×EXPO 2027の楽しみ方をプレゼンテーション

特別プログラム「192日、いつでも満開会議」では、スペシャルサポーターを務める8人が、GREEN×EXPO 2027で「どの時期の満開を見に行きたいか」をテーマに、それぞれの視点からおすすめの時期や楽しみ方をプレゼンテーションしました。

園芸デザイナーの三上真史さんは、世界にある庭園や植物、文化に触れ、一つの会場で世界を旅するような体験ができることをアピール。「おすすめする時期はやっぱり春、特に3月です。満開というと4月、5月だと思うのですが3月は植物が動き始める芽吹きの子供の季節。まずは春の庭園から世界を旅するように各国の庭園をぜひ巡っていただけたらと思います」と語りました。

榊原郁恵さんは、約13年間野菜作りに励み、地元の農業塾に通っていた経験から、植物が育つ過程や実ったときの感動を熱弁。「私は9月をおすすめしたいです。実りの秋、食欲の秋にGREEN×EXPO 2027で、農と食の魅力をたっぷり感じて、そして味わっていただいて、そんな“実り満開”の一日を、ぜひ楽しんでいただきたい。植物が育つさまを見ていただくのには通うのもいいかもしれません」と呼びかけました。

「QuizKnock」のふくらPさんと鶴崎修功さんは、「植物の知られざる世界」をテーマに、世界でも珍しい植物との出会いや、植物がもつ驚きの能力、さらには植物と最新テクノロジーとの掛け合わせなど、GREEN×EXPO 2027ならではの楽しみ方を紹介しました。ふくらPさんは、科学的に解明されている植物がもつ知られざる能力があると紹介し、「もっともっと植物の世界を知りたくなってきたらテーマ館がおすすめです。知られざる能力や生命同士の複雑なつながりを、最新研究成果と映像、アートとエンターテインメントを掛け合わせて見せてくれる」とアピールしました。また、鶴崎修功さんは「GREEN×EXPO 2027では自然とテクノロジーの関わりを見てほしい」と会場内にあるUrban GX Villageへ足を運んでほしいと



三上真史さん



榊原郁恵さん

し、「おすすめしたいのは自由研究のある夏。お子さんと一緒に巡ってみては」と提案しました。

地元が神奈川県「囲碁将棋」の文田大介さんと根建太一さんは、自然の中で生き物や植物の勉強ができたり、ものづくりを楽しんだり、家族みんなが満足できる「笑いが満開になる日になる」と力説。出かけやすいゴールデンウィークの時期をおすすめしました。



（左から）鶴崎修功さん、ふくら P さん



（左から）文田大介さん、根建太一さん



（左から）平山真衣さん、塩月希依音さん

「NMB48」の塩月希依音さんは、趣味が生け花であることから、日本政府苑や花・緑出展で見られる様々な流派のいけばな作品が展示されることを楽しみにしていると話し、「期間を変えて何度も何度も訪れてほしい!」と強くプッシュ。平山真衣さんは、「8月をおすすめしたいです。江戸時代にタイムスリップした気分で、浴衣を着て園芸文化館の花屋敷を楽しみたい」と声を弾ませました。

■クロストークで「192日間、いつでも満開予報」を発表

後半は、気象予報士の資格を持つお笑いコンビ「ネイビーズアフロ」のみながわさんが加わり、気象予報士の視点からGREEN×EXPO 2027の魅力を発信するトークセッションを展開しました。

まず、三上さんは、植物は気温、降水量、日照時間によって、その国に育つ種類も変わり、同じ種類の植物であってもまったく異なる姿となることを説明しました。みながわさんは「GREEN×EXPO 2027には70を超える国と国際機関が参加を表明している。会場にある各国の庭園を巡って、その背景にある気候、自然、そして人々の文化まで触れていただけるのではないかといい、「世界の「園芸文化の多様性」が満開でございます!」と笑顔で伝えました。続いて、みながわさんからQuizKnockのお二人に、気象庁が観測対象としている生き物にまつわるクイズを出題。「ホタルの初見」や「アブラゼミの初鳴き」など、生き物の姿や鳴き声も季節の訪れを告げるものとして観測されていることが紹介されました。榎原さんは、自身の野菜作りを振り返りながら、「キュウリやトマトが実ると、『夏だなあ』って思いますね。スーパーには1年



クロストークの様子



みながわさん

中置いてありますが、自分で野菜を収穫していると、季節の移り変わりを感じます」と笑顔でコメント。

生け花好きの塩月さんは「ひまわりが好き。夏を象徴するお花ですし、存在感がすごい。見ただけで明るい気持ちになります」と、季節ごとに異なる楽しみがあるGREEN×EXPO 2027への期待を膨らませました。

最後にみながわさんが、「GREEN×EXPO 2027の満開予想は、“192日間、いつでも満開”でしょう！」と高らかに宣言し、「春も夏も秋も、訪れる度に新しい満開に出会える。そして、花や緑に癒されながら地球の明日を考えるきっかけになればと思います」と“満開予報”を発表すると会場から拍手が。大盛り上がりそのまま記者発表会を締めくくりました。

■主催者および関係省庁・自治体からのご挨拶

会の冒頭では、開催までいよいよ半年となるGREEN×EXPO 2027に向け、筒井会長からの意気込みに続き、高市早苗内閣総理大臣からビデオメッセージが寄せられました。また、金子恭之国土交通大臣、鈴木憲和農林水産大臣、井野俊郎経済産業副大臣、平原敏英横浜市副市長、黒岩祐治神奈川県知事が登壇し、開催に向けた期待や思いを述べました。

主催者挨拶

<筒井会長挨拶>



GREEN×EXPO 2027 の開幕まで、いよいよ半年となりました。70 を超える国・国際機関、全都道府県、500 を超える企業・団体の参加が決定し、開催に向けた「共創」の輪が大きく広がっています。多くの皆さまのご支援により入場券販売も進み、9月18日からは来場日時予約が始まります。本博覧会は「幸せを創る明日の風景」をテーマに、単に花と緑を楽しむだけの博覧会ではなく、人と自然が共生する持続可能

な未来を世界へ発信します。ぜひ多くの方々にご来場いただき、その魅力を体感していただきたいと思います。引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

関係者挨拶

<高市内閣総理大臣ビデオメッセージ>



横浜グリーンエキスポの開幕まで半年となりました。花と緑、食と農の魅力、日本らしい文化やライフスタイルをふんだんに盛り込み、みんなが「楽しめる万博」としていきます。この博覧会は、グリーン技術の産業見本市であり、日本成長戦略の一環として、様々な技術が披露されることを楽しみにしています。子どもたちや若い世代にとっても、重要な学びの機会となります。修学旅行などを通じ、エキスポを「楽しみながら学ぶ場」にしてみたいかがでしょうか。グリーンエキスポの名誉会長として、すべての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。「オールジャパン体制」で準備に万全を期してまいります。横浜から世界へ、そして次の世代へ。未来への希望を発信する博覧会となることを心から期待しています。

<金子国土交通大臣ご挨拶>



横浜グリーンエキスポ開幕を半年後に控え、会場では、1千万株の花と緑、70を超える国・国際機関による国際色豊かな庭園や展示など、着々と準備が進められています。開催期間中のイベントの目玉の一つは、7月に予定している「グリーンテック集中見本市」です。地球課題の解決につながる最先端技術を広く発信するとともに、ビジネスマッチングの場としての期待も高まります。大人から子供まで、そして世界中の方々に楽しんでいただける魅力ある展示が、皆様をお待ちしています。国土交通省としても、総力をあげて、国内外からの多くの方に来場いただけるよう取り組んでまいります。

<鈴木農林水産大臣ご挨拶>



横浜グリーンエキスポ開幕まで半年となりました。準備にご尽力いただく自治体、企業、海外出展者の皆様に感謝申し上げます。会場では広大な花と緑に加え、多彩な食と農の展示を行い、日本政府苑では伝統的食文化や生け花、初公開の盆栽を発信するとともに、植物工場や陸上養殖など先端技術も紹介します。気候変動時代の食と農の未来像を示し、「トウクトウク」に込めた、人と命が共鳴しつなげる思いを広げ、記憶に残るグリーンエキスポの実現を目指してまいります。

<井野経済産業副大臣ご挨拶>



横浜グリーンエキスポまで半年という節目を迎えます。経産省では、現在、大阪・関西万博のレガシーを継承していくため、万博の魅力や感動を体験いただけるようキャラバンを行っています。大阪での成果と熱気を横浜にも繋いでいけるよう、ミyakumaku、そしてトウキョウトウキョウが全国各地を回ってグリーンエキスポを紹介し、その魅力をアピールしています。我が国の技術や魅力が世界に広がっていくこと、そして横浜グリーンエキスポの大成功を祈念します。

<平原横浜市副市長ご挨拶>



横浜市では、市民や企業の皆様とともにつくる市出展の準備を進めています。シンボルオブジェ制作やボランティア募集には想定を上回る応募をいただき、エキスポへの期待の高まりを実感しています。横浜が目指す未来の循環型社会や環境と調和した豊かな暮らしを体験できる、ここにしかない場を目指し、今月後半にはその最新の取組を発表する予定です。開催地・横浜の未来への挑戦に、どうぞご期待ください。開催まで半年。ホストシティとして関係者の皆様と一層強固に連携し、成功に向けて全力で取り組んでまいります。

<黒岩神奈川県知事ご挨拶>



開幕まであと半年となり、神奈川県では万博を盛り上げるため、様々な「参加型企画」をスタートしています。県では、3年がかりでミュージカルを制作し、会場内で上演しますが、人気ボーカルグループGRe4N BOYZが作詞・作曲した主題歌「星の子」に合わせて、みんなで踊る動画を募集しています。応募のあった動画の一部は、ミュージカル本番の中で演出として使わせていただくので、ぜひ、皆さまにも参加していただき、一緒に盛り上げていきましょう。

■主催者プレゼンテーション

2027年国際園芸博覧会協会の石垣和子広報・報道部長より、会場や施設に関する最新情報、新たな見どころや時期による楽しみ方、花の見ごろカレンダー、会期中に行われる初公表のイベント、国際出展の出展状況について発表しました。また、公式参加者のイタリアを代表して、イタリア陳列区域政府委員 マリオ アンドレア・ヴァッターニ 駐日イタリア大使、特別協力パートナーのBOAT RACEを代表して、一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会代表理事 府中市長 高野律雄様にそれぞれご挨拶をいただきました。

さらに、筒井会長と平原横浜市副市長が、特別企画入場チケット「RING PASS」の概要を初公開しました。



2027年国際園芸博覧会協会 石垣広報・報道部長



(左から) 平原横浜市副市長、2027年国際園芸博覧会 筒井会長

<イタリア陳列区域政府委員 マリオ アンドレア・ヴァッターニ 駐日イタリア大使 ご挨拶>



半年後、横浜から未来への新たな挑戦が始まります。GREEN×EXPO 2027が描く未来には、自然を守ることと、人々の豊かな暮らしを両立させようという強い願いがあります。イタリアも、その未来に大きな希望を感じています。イタリア館では、日本の「赤小麦」がイタリアの小麦に新たな可能性をもたらした、美しい両国の物語を紹介します。また、大阪・関西万博の「イタリアン・ガーデン」も横浜で再び生かします。自然、伝統、イノベーションが調和する未来を、日本とともに世界へ示していきたいと思います。

<一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会代表理事 府中市長 高野律雄様 ご挨拶>



GREEN×EXPO 2027の開催半年前という節目を迎え、心よりお祝い申し上げます。水とともに歩み、地域に支えられてきたボートレースは、自然との共生や、その恵みを次世代へつなぐという博覧会の理念に深く共感しています。全国24ヶ所全てのボートレース場で開催する「にっぽん未来プロジェクト競走」の収益を通じて、未来への思いをつなぎ、GREEN×EXPO 2027の成功に向け、皆さまとともに大いに盛り上げてまいります。

■フォトセッション・フォトタイム



(前列左から) 平原横浜市副市長、筒井会長、井野経済産業副大臣、金子国土交通大臣、鈴木農林水産大臣、黒岩神奈川県知事、マリオ アンドレア・ヴァッターニ駐日イタリア大使、(後列左から) トウンクトゥンク、花ずきんちゃん、モリゾー・キッコロ、ミyakミyak



(左から) 株式会社マクニカ 代表取締役社長 原一将様、株式会社エイチ・アイ・エス 国内個人旅行営業本部 本部長 吉田淳平様、長田広告グループ 長田広告株式会社 代表取締役社長 高林勝治様
※高：はしごだか、株式会社JTB 常務執行役員 ツーリズム事業本部 副本部長 国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027) 推進担当 山田仁二様、京急グループ 京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣幸宏様、BOAT RACE 一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会代表理事 府中市長 高野律雄様、JR東日本グループ 東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役 中川晴美様、JALグループ 日本航空株式会社 執行役員 ソリューション営業本部副本部長 西原口香織様、東急グループ 東急株式会社 社長室 広報グループ 統括部長 泉亜紀子様、東海旅客鉄道株式会社 常務執行役員 総務部長 神谷篤様、日比谷花壇グループ CEO 宮島浩彰様

■「2027年国際園芸博覧会 開催 半年前記者発表会」 開催概要

【日時】2026年9月15日（火）10:00～11:30

【会場】大手町三井ホール（東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One 3F）

【登壇者】

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 会長 筒井義信（（一社）日本経済団体連合会 会長）

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 広報・報道部長 石垣和子

内閣総理大臣 高市早苗（ビデオメッセージ）

国土交通大臣 金子恭之

農林水産大臣 鈴木憲和

経済産業副大臣 井野俊郎

横浜市副市長 平原敏英

神奈川県知事 黒岩祐治

イタリア陳列区域政府委員 マリオ アンドレア・ヴァッターニ 駐日イタリア大使

GREEN×EXPO 2027 スペシャルサポーター QuizKnock ふくらPさん・鶴崎修功さん

GREEN×EXPO 2027 スペシャルサポーター 榊原郁恵さん

GREEN×EXPO 2027 スペシャルサポーター 三上真史さん

GREEN×EXPO 2027 スペシャルサポーター 囲碁将棋 文田大介さん・根建太一さん

GREEN×EXPO 2027 スペシャルサポーター NMB48 塩月希依音さん・平山真衣さん

ゲスト ネイビーズアフロ みながわさん

GREEN×EXPO 2027 公式マスコットキャラクター 「トゥンクトゥンク」

大阪・関西万博 公式キャラクター 「ミyakミyak」

愛・地球博 公式キャラクター 「モリゾー・キッコロ」

花の万博 公式マスコットキャラクター 「花ずきんちゃん」

※榊原郁恵の榊は「木」へんに「神」と表記

【内容】

主催者挨拶

・筒井義信 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会会長 ご挨拶

関係者挨拶

・高市早苗 内閣総理大臣 ご挨拶（ビデオメッセージ）

・金子恭之 国土交通大臣 ご挨拶

・鈴木憲和 農林水産大臣 ご挨拶

・井野俊郎 経済産業副大臣 ご挨拶

・平原敏英 横浜市副市長 ご挨拶

- ・黒岩祐治 神奈川県知事 ご挨拶

主催者プレゼンテーション-1

- ・来場日時予約の開始
- ・テーマ館、園芸文化館、屋内出展施設の愛称発表
- ・テーマ館「ねっこ」展示のゾーン展開
- ・園芸文化館「いろはにわ」コンテンツ紹介
- ・花の見ごろカレンダー
- ・会期中の主なイベント
- ・トゥンクトゥンクの日
- ・国際出展の紹介

イタリア陳列区域政府委員 マリオ アンドレア・ヴァッターニ 駐日イタリア大使 ご挨拶

主催者プレゼンテーション-2

- ・特別企画入場チケット「RING PASS」の発表
- ・特別協力パートナーの紹介

BOAT RACE (ボートレース)

一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会代表理事 府中市長 高野律雄様 ご挨拶

- ・プロジェクト協賛の紹介

株式会社マクニカ

株式会社エイチ・アイ・エス

長田広告グループ

株式会社JTB

京急グループ

JR東日本グループ

JALグループ

東急グループ

東海旅客鉄道株式会社

日比谷花壇グループ

フォトセッション-1・フォトタイム

特別プログラム「192日、いつでも満開会議」

- ・スペシャルサポーター紹介
- ・プレゼンテーション「どの満開時期を見に行きたいか」
- ・クロストーク

フォトセッション-2

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
正 式 略 称	GREEN×EXPO 2027 (グリーンエクスポニーゼロニーナ)
開 催 場 所	横浜市瀬谷区・旭区 (旧上瀬谷通信施設)
開 催 期 間	2027年3月19日(金)～ 2027年9月26日(日) 192日間
テ ー マ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
博覧会区域	約100ha(内、会場区域80ha)
ク ラ ス	A1(最上位) クラス(AIPH承認+BIE認定)
有料来場者数	1,000万人以上
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/



公式マスコットキャラクター
「トウキン トウキン」